

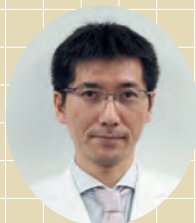
広報かみいち総合病院

第45号 令和元年■月発行



編集・発行 かみいち総合病院 広報委員会
〒930-0391 富山県中新川郡上市町法音寺51番地
TEL.076-472-1212 FAX.076-472-1213
E-mail:kanri@kamiichi-hosp.jp
URL:https://www.kamiichi-hosp.jp/

地域に寄り添う、外科治療を目指して



外科医長
関根 慎一

2019年4月より、かみいち総合病院外科に赴任致しました。一般消化器外科と、近年増加が著しい乳癌などの診療を主に担当します。

富山県では、全国より速いスピードで高齢化が進んでおり、65歳以上の人口割合（高齢化率）は、30%以上となっております。

消化器をはじめとしたがん罹患する可能性は益々高くなっており治療成績の向上は、医療における課題です。高齢の方の外科手術にあたっては、『もう少し元気で長生きしたい』という皆様やご家族の願いを叶え

るために、綿密な治療計画と周術期管理により術後合併症を極力なくすことを心掛けて治療を行っております。昨年まで勤務していた富山大学 消化器・腫瘍・総合外科では、この他にも、肝胆膵領域や小児外科領域の診療に携わってききましたので、高度先進医療が必要な患者さんも、大学病院等の中核病院と密に連携し、皆様が安心して治療できる環境を整えたいと思います。

地域の要望に応える外科治療を実践していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

基本理念

「住民が安心して地域で暮らし続けるための医療の砦として私たちの病院が存在する」

基本方針

- 1 地域医療の確保 住民のニーズに対応し、地域の医療機関、保健・福祉分野と連携した包括医療・ケアを提供する。
- 2 チーム医療の推進 医療従事者として研鑽に励み互いに助け合い、質の高い安全な医療を実践する。
- 3 住民参加 地域に開かれた病院を目指し、住民との交流を深め町づくりに貢献する。
- 4 思いやりの職員集団 一人ひとりが思いやりの精神をもって活動する。



食事をおいしく 食べ続けるために

摂食嚥下障害看護認定看護師
土井 淳詩



* 摂食嚥下障害ってなに？

摂食嚥下障害とは、食べること、飲み込むことの妨げという意味があります。摂食嚥下障害は、脳卒中などの病気を機に起こることもありますし、加齢と共に飲み込みの力が衰えることでも現れるようになります。加齢による飲み込みの力の衰えは、足腰の衰えと同じように個人差がありますが、人が生きていくうえでいつか摂食嚥下障害を経験することは避けられないと思っていいでしょう。

* 誤嚥性肺炎の基礎知識

誤嚥性肺炎とは、一言でいうと誤嚥が原因で起こる肺炎のことをいいます。誤嚥が原因と聞くと飲食物の誤嚥を想像するかもしれませんが、それだけではありません。誤嚥性肺炎は無意識のうちに細菌の混ざった唾液や痰などを誤嚥することでも起こります。特に高齢者ではこういった「むせない誤嚥（不顕性誤嚥）」を原因とした肺炎が多いといわれています。むせない誤嚥を予防するためには細菌の入口である口の中を清潔に保つこと、つまり口腔ケアが重要となります。口腔ケアには大きく2つの目的があります。1つは、口の中をきれいにすることを主

眼にした口腔ケアで、2つめは口の働きを維持・回復させることを主眼にした口腔ケアです。2つの目的を考えた口腔ケアを、毎日行うことがむせない誤嚥を減らすことに繋がります。また、もしも細菌を誤嚥してしまったとしても、人には細菌に抵抗し重篤な肺炎となることを防ぐ力がありますが、そのためには食生活と栄養が大切です。平成28年の国民健康・栄養調査の結果によると65歳以上の高齢者で低栄養傾向の人の割合は17.8%で、およそ6人に1人が低栄養状態にあるということが報告されています。栄養不足が続くと体内のたんぱく質が減っていき、免疫力が低下するため病気にかかりやすくなったり回復するまでに時間がかかるようになります。誤嚥性肺炎を予防し、食事を安全においしく食べ続けるためにためには、目的を持った口腔ケアを行うこと、低栄養状態にならないような栄養管理を継続して行うことが必要です。

摂食嚥下障害が原因で食事を十分に食べられない、口腔ケアがうまくいかないなど、不安なことやお悩みがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

患者サポート相談窓口のご案内

相談を
希望される
方は…

窓口●患者サポート相談窓口（北館1階）
受付日●月曜日～金曜日
（外来休診日・年末年始を除く）
時間●午前8時30分から
午後5時15分まで

当院担当職員が相談内容に対応いたします。

※窓口以外にも、電話や投書箱、E-mailでもお受けいたします。
E-mailアドレス kanri@kamiichi-hosp.jp

相談
内容

- 診療内容について
- 転院・施設紹介について
- 医療費・福祉制度について
- 個人情報・情報開示について
- 医療安全について
- 主治医以外の医師の意見（セカンドオピニオン）
- ご意見・ご要望 その他



お問い合わせ先

かみいち総合病院 患者支援相談室
電話：076-472-1212（代表）

人間ドック・健康診断のご案内

現代社会における環境の変化や食生活の多様化により、自分では気づかないうちに進行してしまうがん・心臓病・脳卒中は、生活習慣の改善により発症を予防したり、進行を遅らせたりすることができます。皆さまが関心をもって定期的に健康診断を受けることが、これからの健康管理の重要なポイントといえます。当院では各専門医師による画像診断、ドック担当医による総合的な診察、保健師、看護師からの生活指導など、個別の状態に応じたアドバイスを行っています。皆さまの健康づくりのお手伝いとして人間ドックをご利用ください。

人間ドックは予約制となっており、
随時受付しています。

ご予約は、当院南館1階「健診センター受付窓口」、または電話でもできます。オプション検査も多種用意してありますので、ご予約時にお問い合わせください。

お問い合わせ
ご予約先

かみいち総合病院 健診センター
直通電話：076-472-5136

※お問合せ・ご予約は午後2時から午後4時までにお願います。

かみいち総合病院 「病院祭」を開催します。



8回目となる今年は「平成～令和へ 未来につなぐ地域医療」をテーマに開催します。

特別講演では、地域医療に携わり、医師として20年以上入浴・温泉を研究し温泉療法専門医としてもご活躍の 東京都市大学人間科学部教授 早坂 信哉 先生 をお招きし「お風呂で健康～今晚からできる医学的に正しい入浴法～」をテーマにご講演いただきます。

そのほか様々な企画を用意し、多くの皆様のご来場をこころよりお待ちしております。

日時 11月3日(日) 午前9時15分～12時15分

場所 かみいち総合病院北館1階ロビーほか



● 「ガッテン糖尿病」

演者：糖尿病センター

時間：午前9時30分～（25分）

● ミニコンサート

演者：上市中学校吹奏楽部

時間：午前10時40分～（20分）

● 各種コーナー

- ◆ 相談コーナー（栄養相談、お薬健康相談）
- ◆ 展示コーナー（病院祭ポスター応募作品展、医療安全パネル、作業療法制作品、手芸作品）
- ◆ 測定コーナー（骨密度、体液量、血糖、ヘモグロビン）
- ◆ 体験コーナー（AED、ハンドマッサージ）
- ◆ ちびっこ白衣試着コーナー
- ◆ ゲームコーナー など

● 特別講演

演題 「お風呂で健康～今晚からできる
医学的に正しい入浴法～」

講師 早坂 信哉 先生

東京都市大学人間科学部教授

博士（医学）／温泉療法専門医

時間：午前11時15分～（60分）



早坂 信哉
(はやさか しんや)

プロフィール

お風呂・温泉と健康の関係を医学的に研究している医師。1993年自治医科大学医学部卒業、2002年自治医科大学大学院医学研究科修了後、浜松医科大学准教授、大東文化大学教授などを経て、現在、東京都市大学人間科学部教授。一般財団法人日本健康開発財団温泉医科学研究所所長。博士（医学）、温泉療法専門医。「ホンマでっか!?TV（フジテレビ）」等メディアにも多数出演。

第7回かみいち総合病院 病院祭の様子 開催日：平成30年11月11日(日)



「ガッテン糖尿病」



血糖測定コーナー

上市中学校吹奏楽部



AED 体験講習ほか



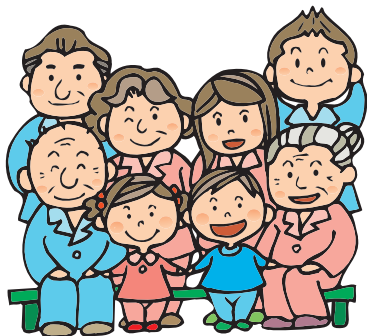
外来患者満足度調査の結果

平成30年10月25日～

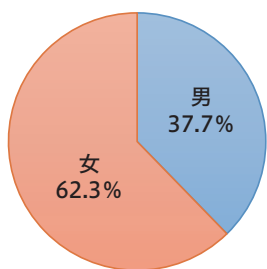
平成31年1月23日実施

回答者数：115人

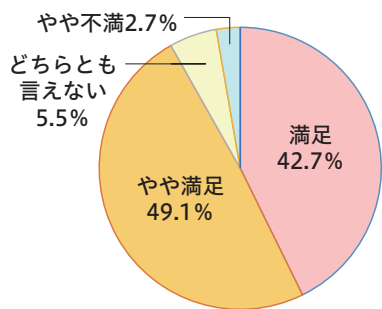
平均年齢：73.9歳



回答者の性別割合

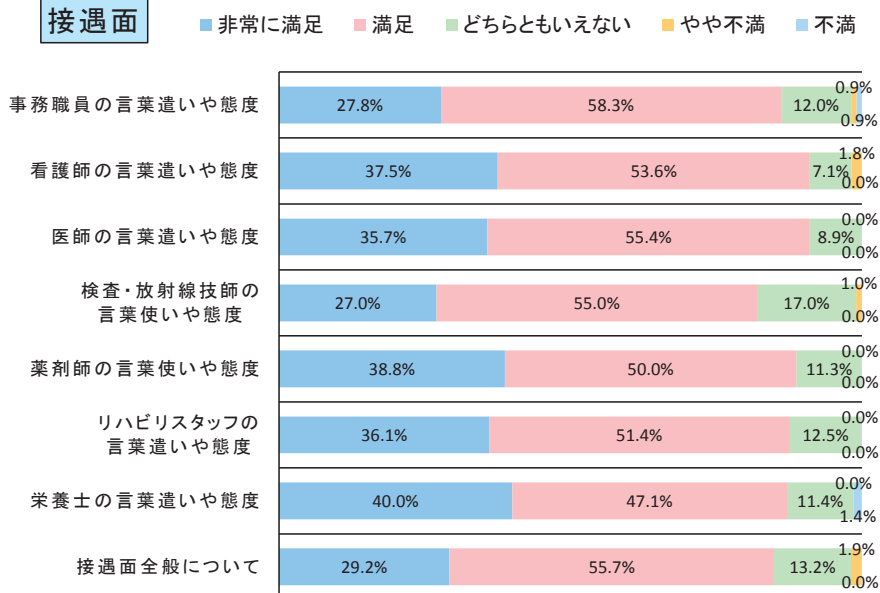


総合満足度

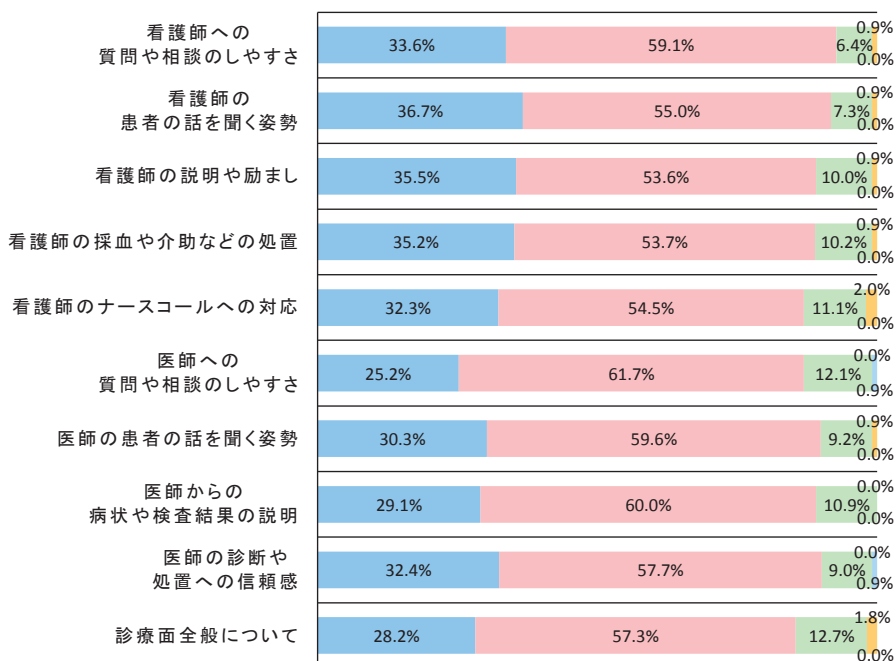


主要項目の満足度

接遇面



診療面



小児科のインターネット予約受付中

スマートフォンやパソコンなどでかみいち総合病院のホームページから24時間外来予約ができます。また、予防接種も予約受付ができます。



診療受付時間 平日 8:30～11:30 13:00～16:30

QRコードからも

